

平成30年度予算に対する

各会派の意見表明・討論

平成30年度一般会計ほか、4特別会計予算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、予算特別委員会(委員長 田中ひでかつ、副委員長 浅沼敏幸)を設置し、14日間

区政改革を推進し、区民サービスの充実を!

練馬区議会自由民主党(14人)

平成30年度予算は、「改革ねりま」のさらなる推進に向けて、アクションプラン・区政改革計画の着実な実施を最優先に予算化したものであり、

しを行い、区民サービスの充実と持続可能性の確保の実現に向け、改革をさらに進めることを強く要望する。【都区財調・財政計画・公債費】①区におけるソフト・ハード両面の充実のために、

平成30年度練馬区一般会計予算ならびに4特別会計予算に賛成する。今予算は、福祉や子どもに関する経費は全体の約67%であり、子育て、教育、福祉施策の向上を最優先

一 般 会 計、国民健康保険会 計、介護保険会 計、後期高齢者医療会 計の4予算に反対。

正を。【保健福祉費・介護保険会 計】①生活保護の不正受給について、納税者に誤解を

携強化を。②スポーツや芸術の分野で将来有望な青少年に

ブの校内設置を。④保育所の需要分析の徹底を。⑤のびのびひろば事業の体制整備を。

不登校対策のため、スクールソーシャルワーカーの家庭訪問強化を。⑤体育館空調機は

早期に全校設置を。⑥トイレの洋式化は校舎配置に合わせ

暮らしに安全・安心を届けるまち練馬へ!

練馬区議会公明党(12人)

害時協力登録車制度の周知徹底を。③特殊詐欺被害防止のための啓発活動を。④臨時災害放送局の開局・運営体制の整備を。⑤避難拠点の備蓄品

減取対策を。②起債は残高圧縮の手法を含め計画的に活用を。③特別交付金算定の透明性・公平性を確保を。【議会費・総務費】①管理職育成と昇任意

区立保育園の委託化・民営化を推進している。今こそ区民の声に耳を傾け、区民の困難を解決する予算にすべきと求め、以下要望する。

認可保育園中心の整備で待機児ゼロの実現を

日本共産党練馬区議団(5人)

区立保育園の委託化・民営化を推進している。今こそ区民の声に耳を傾け、区民の困難を解決する予算にすべきと求め、以下要望する。



予算特別委員会

区民参加と協働を根幹としたまちづくりを
練馬区議会民進党・無所属クラブ(4人)

の演壇へスロープ等の設置を。⑪早期にみどりバス全ルートで30分1便運行の実現を。⑫無電柱化は狭く危険な道路を優先に。⑬教員の増員を求め、全学年で30人学級の実施を。⑭学校統廃合を進める適正配置

税制改正やふるさと納税等による区財政への影響が今後も懸念されることから、引き続き注視していくことが重要である。また山積する将来課題に対しては明確な目標を定め、区民参加と協働のもと積極的に区政運営に取り組みたいことを強く要望し平成30年度予算に賛成する。【都区財調・財政計画】①KGI指標の導入を。②アクション

高齢者施設と連携を。②商店街の個店とのつながりを強化し、売り上げにつながる支援の充実を。【保健福祉費】①生活保護受給者の健康管理の徹底を。②地域包括支援センターの事業周知を。【都市整備費・土木費】①駐輪場の電

区民と向き合い、対話による区政を
生活者ネットワーク(3人)

保育所、学童の待機児童など困難に直面する区民に合う姿勢が不十分であり反対。①生きづらさを感じる若年単身女性への支援は、家族も支援せよ。②夜間や土日も対応する労務相談情報を区ホームページで知らせよ。③区民が空き家を活用し地域を活性化するため「空家活用条例」の制定を。④みどりの基本計画改定では「みどり30」の堅持を。⑤外環青梅インターは「重点まちづくり計画の検討」を撤回し住民と話し合うことから始めよ。⑥白子川河川整備

計画に地域住民の声を反映させよ。⑦教員の負担軽減のルール・サポート・スタッフは非常勤ではなく教員の増員で。⑧3歳児1年保育は細切れ。就学前までの切れ目ない認可の増設を。⑨育児支援へパーは虐待の未然防止や育児不安に対応できる人材育成を区の責任で。⑩地域包括支援センターの訪問支援事業は高齢者のみ世帯だけでなく同居家族がいる高齢者も対象に。⑪介護保険、国民健康保険は軍事費削減、福祉予算増額など抜本的見直しを国に求めよ。

「保活」や負担増で苦しむ区民の声を
市民の声ねりま(2人)

子育てをはじめ、区政喫緊の課題に真摯に向き合うべき。①児童相談所の区移管を。②区の発行文書等は西暦併記徹底を。③事務事業評価等の再開を。④地域集会所から情報発信や講座等の実施を。⑤石神井観光案内所の充実を。⑥生け垣の維持管理に支援を。⑦医療機関での障害者差別防止へ啓発・助言を。障害者の移動支援の運用改善を。⑧地

維新だからできる「身を切る改革」
練馬区議会維新の会(1人)

平成30年度予算および各特別会計予算に賛成する。今後ともさらに「改革ねりま」が進むよう期待し以下意見・要望を申し上げる。①ふるさと納税の影響が大きくなっているため、一人当たりの寄付額の上限定額を定めるなど国に働きかけられたい。②練馬庁舎での電気使用料の削減は評価するが、今後さらに新電力の活用を図られたい。③中小企業の店舗数の減少に歯止めをかけるため、さまざまな支援に努められたい。④民泊の無許可営業は、事件や事故に巻き込まれる可能性があるため取り締まりを。⑤ペットシヨップや猫カフェの衛生管理の強化を。

30年度予算・区行政に具体的な運営力無し
オンブズマン練馬(1人)

平成30年度予算、一般会計・国民健康保健事業会計・介護保険会計・後期高齢者医療会計案に反対。例年通り多額の都区財政調整交付金に依存する予算で、先行きに不安を感じる。行政自ら経済の現状に対応する施策に乏しく、区政の行き先には多くの不安がある。漫然と

幅広い視野を持つ区政運営への転換を
市民ふくしフォーラム(1人)

区民の生活の安心を保障し、税金等の使い道を区民に報告すること、従事者が誇りを持つ環境を整えること。①若年女性への支援は継続した居場所づくりを。②若者支援から外れることの多い40代の生活課題への目配りを。③区職員のワークライフバラ

これからの時代こそ、ボトムアップで実行を
練馬区議会立憲ねりま(1人)

30年度予算は、前年より収入増の予測だが、今後の経済動向等から事業展開には不安。①若者の消費トラブルが急増、教育委員会と連携し、相談機能の向上を。②統合型地理情報システムGISの全庁的な活用に向け庁内検討チームの立ち上げを。③公的施設を活用した地域包括支援センター

平成30年度予算に対する各会派の態度

Table with columns for party names (自民党, 公明党, 共産党, 民進無所属, 生活ネット, 市民の声, 維新, オンブズマン, 市民ふくし, 立憲ねりま) and rows for budget items (一般, 国民健康保険事業, 介護保険, 後期高齢者医療, 公共駐車場). Includes a summary row for '結果' (Outcome) with '可決' (Approved) for all items.

*自民党の議員数は、議長を除いた人数

○賛成 ×反対